

政務活動費支出簿

経費の範囲の項目	調査研究費
----------	-------

領収書 No	支出年月日	内 容	金 額	備 考
⑥	令和6年1月10日	会派視察（東京都）新幹線代	181,400	
⑨	令和6年1月29日	会派視察（東京都）タクシー代 東京駅－ 都市センターホテル	2,000	
⑩	令和6年1月29日	会派視察（東京都）タクシー代 東京駅－ 都市センターホテル	1,900	
⑪	令和6年1月30日	会派視察（東京都）宿泊代	110,836	
⑫	令和6年1月31日	会派視察（東京都）電車代 四ッ谷－日野	1,740	
⑬	令和6年1月31日	会派視察（東京都）電車代 四ッ谷－日野	1,160	
⑭	令和6年1月31日	会派視察（東京都）電車代 日野－東京	2,220	
⑮	令和6年1月31日	会派視察（東京都）電車代 日野－東京	1,480	
㉔	令和6年3月28日	会派視察（安曇野市・各務原市）旅費・宿 泊費	275,040	
㉔	令和6年3月28日	振込手数料	275	
		合 計	578,051	

令和 6 年 1 月 2 6 日

綾部市議会議長 種清 喜之 様

会派名 民政会
代表者氏名 本田 文夫



研究研修・調査計画書

下記のとおり計画しましたので届け出ます。

記

1 日 程	令和 6 年 1 月 2 9 日（月）～ 1 月 3 1 日（水）
2 行 先	東京都 東京都日野市
3 目 的	会派として、国の施策また、先進地事例を研究し、綾部市の施策に活かす
4 内 容	1 月 2 9 日（月） ○国土交通省：地域公共交通問題について 1 月 3 0 日（火） ○環境省：環境問題 ゴミ焼却炉と RDF の現状と将来について ○文部科学省：学校部活動の地域移行の現状と将来について 1 月 3 1 日（水） ○東京都日野市：健康遊具・インクルーシブ遊具について
5 概 算 経 費	2 4 万円程度
6 参加議員名	本田文夫、種清喜之、安藤和明、酒井裕史、藤岡康治 片岡英晃
7 参考資料等	行程表

令和5年3月20日

綾部市議会議長 種清 喜之 様

会派名 民政会
代表者氏名 本田 文夫

研究研修・調査報告書

研究研修・調査をしました結果を下記のとおり報告します。

記

1 日 程	令和6年1月29日（月）～1月31日（水）
2 行 先	東京都 東京都日野市
3 目 的	会派として、国の施策また、先進地事例を研究し、綾部市の施策に活かす
4 内 容	1月29日（月） ○国土交通省：地域公共交通問題について 1月30日（火） ○環境省：環境問題 ゴミ焼却炉と RDF の現状と将来について ○文部科学省：小中学校の教職員負担軽減と学校部活動の地域移行の現状と将来について 1月31日（水） ○東京都日野市：健康遊具・インクルーシブ遊具について
5 支出経費の内訳と金額	交通費 191,900円 宿泊費 110,836円
6 参加議員名	本田文夫、種清喜之、安藤和明、酒井裕史、藤岡康治 片岡英晃
7 活動成果の概要、所見	○国土交通省：地域公共交通問題について 公共交通の現状等について説明を受けた。特に、関心が高かったライドシェアについては、タクジー事業における運転手不足を解消するため、自家用有償旅客運送制度の一部を改革し、2種免許を持たなくてもタクシー事業者の運転手として活動できるとのことであった。私たちが考えて

いたライドシェアとは認識が異なっていることが理解できた。その他にも、各地域で取り組んでいる事例の紹介や国が準備を進めている予算の考え方など、今後の本市の公共交通を考える上で、参考になった。

○環境省：環境問題 ゴミ焼却炉と RDF の現状と将来について

循環型社会・循環経済の概要、廃棄物・資源循環分野の脱炭素化に向けた取組、一般廃棄物処理施設の整備・更新の三項目についての説明を聞き、環境省の組みについて学んだ。

環境省としては脱炭素を進めて 2050 年のカーボンニュートラルを実現するために現在の廃棄物の循環的利用・処分をさらに進展させ CE（サーキュラーエコノミー）へ移行させたいとのことであった。また今後はごみ処理の広域化・集約化の取組を進め、安定的かつ効率的な廃棄物処理体制の構築が必要になるとのことであった。本市のクリーンセンターで排出される RDF の買取についての質問は、燃焼時のカロリーと塩素の関係で売却は難しいとの回答であった。

○文部科学省：小中学校の教職員負担軽減と学校部活動の地域移行の現状と将来について

学校における部活動改革の必要性については、意義や課題を整理した上で、少子化が進む中においても、将来にわたり生徒がスポーツや文化芸術活動を継続して親しむ機会の確保が必要なことから、地域移行に関する協議が行われた。その上で、学校部活動及び新たな地域クラブ活動のあり方に関する総合的なガイドラインが作成され、各自治体にて協議が進められている。各自治体での先進事例の紹介や文化系クラブの進捗状況など紹介された。さらには、部活動の地域移行については、国の実証事業があり、その内容についての説明も受けた。今後、本市の部活動の地域移行に関して参考になった。

○東京都日野市：健康遊具・インクルーシブ遊具について
公園の設置の経緯については、インクルーシブ遊具が無かったため。日野市のユニバーサルデザインまちづくり推進計画におけるバリアフリー化推進の重点区域内の公園という位置づけの為整備の声があがったとのことだった。

補助については、東京都の補助金活用ができた。インクルーシブに半分。しかし、公園整備には出なかったのが自主財源で設置されている。綾部市でもインクルーシブ遊具が設置されると子ども中心に来場者が来られると思うが、日野市のように市民と 6 回ものワークショップで決めたように、色々な市民の声を取り入れて設置する事で、誰もが使

	しやすい公園づくりができ人気な公園になるのではない か。
8 成果物資料等	資料等